

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	全国優秀教員顕彰事業		事業開始年度	平成18年度		作成責任者
担当部局庁	初等中等教育局		担当課室	初等中等教育企画課		初等中等教育企画課長 中岡 司
会計区分	一般会計		上位政策	魅力ある優れた教員の養成・確保		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	新しい時代の義務教育を創造する(平成17年10月26日中央教育審議会答申) 今後の教員給与の在り方について(平成19年3月29日中央教育審議会答申) 教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げた全国の中堅教員を文部科学大臣より表彰し、その功績を広く周知することにより、教員の意欲及び資質能力の向上を図るとともに今後の学校教育の改善に資する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	学校教育において、①学習指導、②生徒指導・進路指導、③体育・保健・給食指導、④部活動指導、⑤特別支援教育などの分野の教育実践等に顕著な成果を上げた、全国の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の中堅教員について、毎年度、文部科学大臣が表彰を行う。					
実施状況	平成21年度文部科学大臣優秀教員表彰において、843名の教員を表彰した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	4	4	4	3	3
	執行額	5	4	3		
	執行率	125.00%	100.00%	75.00%		
	総事業費(執行ベース)	5	4	3		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業を実施するにあたり、教員に対し授与する表彰状や会場借上料等を支出している。経費については、担当官により、印刷や会場借料については、その完了の確認を行うなどの状況把握を行っている。				
	見直しの余地	事業の精査を行い、平成22年度に予算額の縮減を行った。 本事業は、教職員の功績を広く周知するものであること、また、各都道府県教育委員会等における教職員表彰に係る取組を促進することから、教員の意欲及び資質能力の向上に資することとなる。これによって、学校教育の改善及び社会全体の教職に対する信頼感と尊敬の念の醸成を図ることができることから、引き続き本事業を実施することが必要であるが、経費については、印刷製本の際に、納期について十分な期間を確保するなどにより、経費の節減を行ってまいりたい。				
予算・監視・所効見率化	1. 事業評価の観点:この事業は、学校教育において教育実践等に顕著な成果を上げた全国の中堅教員を文部科学大臣より表彰し、その功績を広く周知することにより、教員の意欲及び資質能力の向上を図るとともに今後の学校教育の改善に資する事業であり、長期継続事業や予算執行の観点から検証を行った。 2. 所見:この事業は、平成18年度から行っている長期継続事業であるが、教員の意欲及び資質能力の向上を図るため、引き続き実施すべき必要な事業である。しかしながら、会場借料及び印刷製本に係る費用が予定を下回ったことにより、平成21年度予算において不用が生じている。平成22年度予算において事業規模の縮小をおこなったが、今後においても、効果的な予算執行に努めるなどしつつ、予算を縮減すべきである。					
補記	○平成19年度の執行率が100%を超えているのは、一部経費を流用して執行したため。					

文部科学省
2.8百万円

教職員研修費 2.8百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品費	賞状筒等	1.6			
印刷製本費	表彰状、被表彰者名簿	0.3			
借損料	会場使用料	0.7			
その他	表彰式に係る演奏経費	0.2			
計		2.8	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)